

令和5（2023）年度

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

第7回 実施報告

実施日：令和5（2023）年 12月 8日（金）

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）の第7回研修は、午前は講話「協働によって地域活動を推進するために」、午後はグループ研究⑤「研究のまとめと発表会の準備」を行いました。

講話「協働によって地域活動を推進するために」

一般社団法人えんがお 代表理事 濱野 将行 氏

濱野氏には、地域で協働するために大切にしたいことを事例とともに説明いただきました。受講者の声も聞きながら、「徒歩圏内でのつながり」、「ニーズと規模の確認」、「休日+αで地域のことをする大人」、「その場においてちょっと余裕のある人との緩やかなつながり」などを話してくださいました。

濱野氏の具体的でわかりやすい説明や「自分の弱みを強みに変えること」、「活動している人たちが楽しんでいること」などの前向きな言葉に引き込まれ、受講者は地域で活動していく思いがさらに高まったようでした。



グループ研究⑤「研究のまとめと発表会の準備」

総合教育センター職員

始めに、濱野氏の講話から学んだことや気付いたことをグループで話し合いました。全体で共有したことで、協働についての学びがさらに深まりました。

続いて、発表会に向けてグループ研究のまとめをしました。各グループとも意見を出し合いながら熱心に議論を重ね、これまでの研修を通して得た知識や気づきを基に、課題の解決策や提案・提言などを考えました。また、発表会の役割分担や流れの確認を行うなど、本番を想定した準備も進めました。

受講者は、仲間とコミュニケーションを図り、協力し合うことの大切さを実感しながら研究を進めることができました。来年1月実施の発表会が楽しみです。





<受講者の感想から>

- すばらしい講話でした。濱野さんのような方が、県内各地のコーディネーターとして活躍できれば、すばらしいまちづくりにつながると思います。子ども・高齢者・障害のある方々の「つながり」ができると明るい未来が見えます。私もどこかで協力できることがあれば、ボランティア活動をしていきたいです。
- 「一人＝独り」ではない地域は、選択肢がいろいろあり、「～だから」と諦めなくてよい地域というお話を聞き、ボランティアを行う上で諦めていたことがあったことに気付くことができました。
- それぞれの生かせるところを一緒にやっていくことで、地域コミュニティが広がっていくと思いました。ぜひ、グループの方とも協働で何かできたらと思います。
- 何事も自分で楽しむことが大切だと思いました。何かをしようとするときすぐ我慢してしまい、今まで前に進めませんでした。自分のできるちょっとしたことから始めていきたいと思います。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp